

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		子どもの居場所づくり事業					②事業番号		7405										
③事業類型		3. 政策推進事業			④開始年度		令和 1 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし									
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		○ 計画等	その他	法令等の名称		泉南市子ども・子育て支援事業計画					
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他									
⑧関連予算科目コード				款		9		項		5		目		5		細目		6	
⑨担当部名				⑩担当課名												会計		一般会計	
教育委員会				青少年センター															

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内の小・中学生	① 市内の小・中学生(児童・生徒数)	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市内の全小学校区で、主に夏休み中の子どもたちの居場所を確保し、その居場所の中で多様な経験・体験ができるように様々な取組を行う。	① 延べ実施回数	回
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
社会を担う力を身につけ、互いを知り合うことによる内外交流を促進し、安全で安心な子どもの居場所の提供及び子どもの健全な育成を行う。	① 延べ参加者数	人
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市内全小学校区ごとでの子どもの居場所の提供及び子どもの健全育成につながる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
(1-4-3-3): 青少年と様々な世代の市民との交流を促進	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	3 青少年、子どもの健全育成
	施策小	4 子どもの居場所づくり

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	市内の小・中学生(児童・生徒数)	人			5,043	4,834	4,834	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	延べ実施回数	回			28	28	28	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	延べ参加者数	人			1,049	1,100	1,200	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人			0.62	0.62		
	正職員	人			0.00	0.00		
	任期付職員	人			0.00	0.00		
	臨時職員	人			0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円			4,781	4,781		—
	直接事業費	千円			1,129	1,991		
	総事業費	千円			5,910	6,772		
財源内訳	国庫支出金	千円			0	0		—
	府支出金	千円			1,129	1,991		
	受益者負担金	千円			0	0		
	その他特定財源	千円			0	0		
	一般財源	千円			4,781	4,781		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	夏休みの学校プール一般開放事業の代替事業として、未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむために学校・家庭・地域・行政が連携協力し、地域の人材を活用し、学校教育では得られない多様な体験を子どもに提供し、子どもの心の醸成に資することを目的として事業を開始した。
②開始から現在までの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	—
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	交流活動の提供、自主活動の支援、居場所の提供など、子どもの健全育成、生涯学習活動の推進に向け必要な施策である。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	交付金を活用しており、また、夏休み等子どもの居場所の提供など、市民の理解を得られるものとする。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	講座アンケート等により様々な経験・体験を希望する声があがっており、市民ニーズに対応した内容の充実を図っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	夏休み等の休業中の居場所としての機能があり、また、多様な経験・体験を希望する青少年やその保護者は多く、事業の廃止には市民への影響が考えられる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	市内の全小学校区において実施することができ、期待以上の成果が得られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	各小学校で実施し、安全・安心確保のためのボランティアの参画等で参加しやすい状況を作ることができる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	すでに他部署との合同事業であるが、より多くの部署と連携することで成果向上につながる。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	交付金の活用や市民ボランティアとの協働など、これ以上の削減は難しい。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	全ての対象者が参加可能である状況を担保するためには、受益者負担は適切ではない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	夏休み等の長期休業中の多様な経験・体験ができる居場所として、一人でもより安全に参加できるようにするため、各小学校区ではなく、各小学校での実施へと変更して進めていきたい。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

A	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—